

(9) プレイメントプラザ

① 設置の趣旨（目的）及び組織

ア 組織設置の趣旨（目的）

プレイメントプラザは、学生の就職指導・支援に係る企画及び実施並びに卒業・修了生への就職情報の提供その他就職支援に資することを目的とし、平成 27 年 4 月 1 日に設置された。

業務内容は、次のとおりである。

- i) 学生の就職指導・支援に係る企画及び実施に関する事項
- ii) 就職情報等の収集・分析・提供に関する事項
- iii) 卒業生・修了生への就職情報の提供に関する事項
- iv) その他、就職支援に関する事項

イ 組織の構成及び構成員等

プレイメントプラザは、室長、特任教員及びその他必要な職員で組織され、室長は学長が指名した副学長、特任教員はプレイメントプラザ所属の特任教授（キャリアコーディネーター）をもって充て、その他必要な職員として学生支援課所属の職員が配置されている。

令和 5 年度は、特任教授（キャリアコーディネーター）が 5 人在籍し、学生の相談・指導及び就職ガイダンスや教員採用試験対策講座の講師等を担当した。

② 運営・活動の状況

ア 委員会等の開催状況

教授会の専門委員会である就職委員会に、プレイメントプラザ室長がオブザーバーとして出席している。令和 5 年度は、就職委員会は 3 回開催された。

イ 審議された主な事項

「就職委員会」の項参照。

ウ 重点的に取り組んだ課題や改善事項及び前年度の検討課題への取組状況等

就職ガイダンス、教員採用試験対策講座（基礎編、実力養成編、直前講座、直前実技指導・模擬面接）、学内模擬試験等の就職支援プログラムについて、実施時期・内容等の改善を図りつつ、就職指導の年間計画に基づき計画的に実施した。

9 月に就職研修（学部 3 年次生必修）を実施し、10～11 月には指導教員と面談の上、進路希望調書のプレイメントプラザへの提出を求めることにより、学生の就職に向けた意識を高め、就職試験準備の早期取組を促すとともに、プレイメントプラザ及び就職支援プログラムの利用促進を図った。

10～11 月に学部 2 年次生全員を対象に、キャリアコーディネーターが個別面談を行う「教職キャリア相談」を実施し、就職・進路への意識付けを図り、教員採用試験早期受験の説明や受験への意思確認を行うとともにプレイメントプラザ利用方法等を案内した。

③ 優れた点及び今後の検討課題等

教員採用試験対策講座等の就職支援プログラム、キャリアコーディネーターによる相談・指導、プレイメントプラザ及び教員採用試験学習支援システムにおける就職情報の提供など、教員就職を中心とする就職支援の各種取組は、大きな成果をあげている。

文部科学省が令和 5 年 12 月 25 日に発表した「国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の令和 5 年 3 月卒業者の就職状況」において、本学学部卒業者の教員就職率（大学院等への進学者及び保育士への就

職者を除く。)は84.8%で、国立の教員養成大学・学部(教員養成課程)44大学・学部中、第2位であった。11年連続で80%以上の教員就職率を保ち、5位以内を維持しているのは、全国で唯一本学のみとなっている。